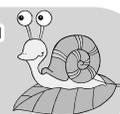
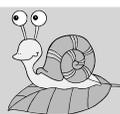


こんにちは! 南部町立図書館です



歴史資料をまもり、残すためにできること

秦 博志さん 講演会

私達の財産である歴史をまもり、残すために今何ができるのか。修復家として活躍の秦博志氏に、修復保存技術の今を講演していただきます。

講師 秦 博志氏 (修復家)

- 内容 ◇手製本の技術から学ぶ
◇修復の技術
文化財保存修復の現状と事例紹介
◇予防の技術
◇災害対策への色々な取り組み

開催日 2006年6月24日(土) 午前10:00~

場所 南部町立図書館

7月の休館日

3・10・17・18・24・30・31

図書館員の

発掘! おすすめ本

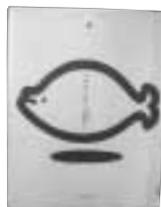
みそひともじ

三十一文字で世界に触れる

『てのりくじら ~柘野浩一短歌集1~』

柘野 浩一

短歌は難しい? 堅苦しい?



いえいえそんなことはありません。パンチ(と、ちょっぴりの毒)が効いた言葉がまっすぐ心に届きます。短歌の世界をごく身近に感じることが出来る作品集です。(安田 美穂子)

新刊案内 ~ご紹介はほんの一部です~

文学

- | | |
|----------------------|---------|
| 『漱石と不愉快なロンドン』 | 出口 保夫 |
| 『眠れぬ真珠』 | 石田 衣良 |
| 『棄霊島(上・下)』 | 内田 康夫 |
| 『三日月が円くなるまで(小十郎始末記)』 | 宇江佐 真理 |
| 『町長選挙』 | 奥田 英朗 |
| 『ミーナの行進』 | 小川 洋子 |
| 『夜の公園』 | 川上 弘美 |
| 『虹の彼方』 | 小池 真理子 |
| 『強運の持ち主』 | 瀬尾 まいこ |
| 『秋の森の奇跡』 | 林 真理子 |
| 『浮かれ黄蝶(御宿かわせみ)』 | 平岩 弓枝 |
| 『秀吉の枷(上・下)』 | 加藤 広 |
| 『焼きそばうえだ』 | さくら ももこ |
| 『この国のけじめ』 | 藤原 正彦 |
| 『しいちゃん日記』 | 群 ようこ |
| 『パズル・パレス(上・下)』 | ダン・ブラウン |

『ウルトラダラー』

手嶋 龍一

アイルランド、ダブリンに超精巧偽ドル紙幣が出現。印刷機・技術者から検査機まで、偽造ルートを追って日米英の諜報活動が動き出す。事実と仮想が交錯展開していく。



その他

『ひらめき脳』

茂木 健一郎

人の脳で起こる、ひらめき「アハ!体験」はだれにでも可能。そのメカニズムと方法を茂木先生が伝授!



- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 『この絵本が好き! 2006年版』 | 別冊太陽編 |
| 『中田主義』 | 中田 宏 |
| 『ほった。』 | 坂本 達 |
| 『みんなの裁判』 | 小林 剛監修 |
| 『妻に先立たれる前に』 | 志茂田 景樹 |
| 『ヤンキー先生の子どもがわからない親たちへ』 | 義家 広介 |
| 『地球がもし100cmの球だったら』 | 永井 智哉 |
| 『はだしがいちばんきもちいい。』 | 芝田 一 |
| 『レトルトカレー図鑑』 | 水野 仁輔 |
| 『夢みるおしゃれレシピ』 | おおた うに |
| 『奥蘭壽子のラク! うま! 今晚のおかず&明日のおべんとう』 | 奥蘭 壽子 |
| 『私のアンティーク』 | 矢代 伸一 編 |
| 『地産地消時代の新・農産物流通チャンネル』 | 二木 季男 |
| 『イヌ・ネコ家庭動物の医学大百科』 | 動物臨床医学研究所 |
| 『役に立つ落語』 | 山田 敏之 |

児童書

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 『戦火の爪あとに生きる』 | 佐藤 真紀 |
| 『怪異百物語6(怪異百物語6) 不思議な世界を考える会』 | 今森 光彦 |
| 『フン虫(やあ! 出会えたね5)』 | 板橋 雅弘 |
| 『ウラナリと春休みのしっぽ』 | 丘 修三 |
| 『ウソがいっぱい』 | はやみね かおる |
| 『都会(まち)のトム&ソーヤー4』 | 松原 秀行 |
| 『ミッシング・ガールズ』(レイの青春事件簿1) | J・K・ローリング |
| 『ハリ・ポッターと謎のプリンス』(上・下) | エリザベス・ジャズミン・ホッジス |
| 『セレディピ物語』 | |

『ゲド戦記 I~III』

ル=グヴィン

ファンタジーの金字塔ともいえる『ゲド戦記』シリーズ。読みやすい新装版です。7月には映画も公開されます。



絵本

『人にはどれだけの土地がいるか』

トルストイ 原作/柳川 茂文

まいにち、はたけでしごとをしていたバホーム。あるひ、うまいはなしにのせられて、土地を手にいれると、もっともっとひろい土地がほしくなり…。ロシアのある地方に伝わる民話。



- | | |
|--------------------------|-------------|
| 『さかさのこもりくん』 | あきやま ただし |
| 『はっぴいさん』 | 荒井 良二 |
| 『ぼくのはね』(こどものとも年中向き) | きたむら えり |
| 『しっこっこ』 | 西内 ミナミ |
| 『あまがえる先生 まよなかのびっくりコンサート』 | 松岡 達英 |
| 『うちのともだち』 | 柳原 良平 |
| 『バスラの図書館員』 | ジャネット・ウィンター |
| 『進化のはなし』 | スティーブ・ジェンクス |

手間山の 赤猪岩



絵：野回宣友

おかし昔のそのまた昔、出雲の国（島根県）に住んでいた大国主命という神様は、因幡の国（鳥取県東部）に住むたいへん美しい八上姫に結婚を申し込む八十神といわれる何十人のお兄さん神たちについて旅に出ました。

お兄さん神たちは大国主命がおとなしいのをよいことに、自分たちの荷物を入れた大きな袋を背負わせて、従者のようにあつかいました。

ところが八上姫は意地悪なお兄さん神たちを嫌って大国主命と結婚したいと思っていました。これを知ったお兄さん神たちはたいそう怒って、大国主命を殺してしまおうと相談しました。

ちょうど大国主命が南部町の手間山のふもとにさしかかった時です。お兄さん神たちは手間山のとっぺんに登って、「おーい！ 大国主よ、この山で今、赤い大きなイノシシを見つけたんだ。これをこれから追い出すから、お前は下で待っていてとっつかまえる！ いいか、下手して逃がしでもしたら、お前の命はないものと思え。しっかつかまえるんだぞ！」とひどいことを言いつけました。そしてイノシシによく似た大きな石を真っ赤に焼いて山の上から転がしました。

ゴクゴクと焼けた石は、まるで赤い

イノシシのように落ちていきます。下で待ちかまえていた大国主命は両手でその石をがちりと受け止め、そのまま大火傷をして死んでしまいました。

大国主命のお母さんは泣き悲しんで、天に昇ってカムムスビの神様に助けを求めました。「大国主命がだまされて大火傷を負って死んでしまいました。なんとか助ける方法はないものではないか。」お母さんを哀れに思ったカムムスビの神様は、「それならば、キサガイ姫とウムガイ姫をつかわしましょう。この2人が治療すればきっとよくなるはずだ。」と2人の若い姫を大国主命の治療に向かわせました。

2人はさっそく冷たい清水を探して大国主命の火傷を冷やしました。さらに、キサガイ姫は赤貝の殻を削って粉をつくり、ウムガイ姫はそれをハマグリ汁で溶いて火傷の薬をつくりました。そうしてそれを大国主命に塗ると、見る間に生き返って火傷もきれいに治りました。

手間山のふもと、南部町寺内には、大国主命を奉る「赤猪岩神社」があり、境内には大国主命がだまされて受け止めた赤猪岩が保存されており、この岩に触るとたたりがあると、近づくと人がありません。

手間山の近く、南部町清水川には、2人の姫が大国主命の火傷を冷やした清水が湧き出ており、土地の人には「オバゴゼサンの井戸」と名づけられ、今でも火傷に効くといわれ、水を汲みに来る人が絶えません。

神話のふるさとに今も伝えられる雄大な物語です。

おしまい



清水井



赤猪岩神社